

【授業科目】 母子支援看護学演習Ⅲ (母性看護学支援論) (母性科目) Advanced Seminar Child and Mother Health Nursing

| 担当教員 | 開講年次 | 選択必修 | 単位数 | 時間数 | 授業形態 | オフィスアワー |
|--|---|------|-----|-----|------|----------|
| 日比 千恵 | 1年次後期 | 選択 | 2 | 60 | 演習 | 巻末掲載 |
| 授業概要 (内容と進め方) 及び 課題に対する フィードバック方法 | <p>ライフサイクル各期にある女性とその家族の生活や健康課題を様々な観点から明らかにし、母子支援に関する重要課題について関心のあるテーマを選び、看護支援方法について文献に基づき、実践的に探究する。ライフサイクル各期の健康課題への支援について、文献学習により理解を深める。</p> <p>妊娠期からの親性の発達支援、妊産褥期の健康問題や影響要因に関し、文献検討を深める。児を亡くした女性に対する身体的、精神的問題について文献検討を行い支援方法について理解を深める。</p> <p>授業は、実務家教員(日比)が進める。</p> <p>課題に対するフィードバック方法/課題をグループ・個人で発表し、その際コメントする。</p> | | | | | |
| 授業の 位置づけ | 本大学院のディプロマ・ポリシー①、③の達成に寄与している。 | | | | | |
| 到達目標 (履修者が到達 すべき目標) | <p>① ライフサイクル各期の女性とその家族の健康問題を述べるができる。</p> <p>② 思春期の女性とその家族への健康支援方法について発表することができる。</p> <p>③ 成熟期女性とその家族への健康支援方法について発表することができる。</p> <p>④ 更年期女性とその家族への健康支援方法について発表することができる。</p> <p>⑤ 妊娠期から産褥期にかけての親性の発達支援、妊産褥期の健康問題や影響要因に関し、文献検討を深め、看護支援方法について発表することができる。</p> <p>⑥ ペリネイタルロスを経験した女性への看護支援について発表できる。</p> | | | | | |
| 時間外学習に 必要な 内容・時間 | <p>配布資料を授業外でもよく読み、理解を深める。(各60分)</p> <p>課題に関連した文献検索を幅広く行い、プレゼンテーションやレポート作成にいかす。(各60分)</p> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合:予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合:予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合:予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p> | | | | | |
| 授業計画 | <p>第1~2回 ライフサイクル各期の女性の健康問題 思春期女性とその家族の健康問題と看護支援① 月経に関する課題、妊娠、性感染症、思春期やせ、喫煙、薬物使用など思春期の健康課題を 検討する</p> <p>第3~4回 思春期女性とその家族の健康問題と看護支援② 支援方法のプレゼンテーション</p> <p>第5~6回 思春期女性とその家族の健康問題と看護支援③ 支援方法のプレゼンテーション</p> <p>第7~8回 成熟期女性とその家族の健康問題と看護支援① 子育て不安、産後うつ、DV、人工妊娠中絶、遺伝相談、不妊など成熟期の健康課題を検討 する</p> <p>第9~10回 成熟期女性とその家族の健康問題と看護支援② 支援方法のプレゼンテーション</p> <p>第11~12回 成熟期女性とその家族の健康問題と看護支援③ 支援方法のプレゼンテーション</p> <p>第13~14回 更年期女性とその家族の健康問題と看護支援① 閉経に伴う課題、子どもの巣立ちに伴う課題、悪性疾患など更年期の健康課題検討する</p> <p>第15~16回 更年期女性とその家族の健康問題と看護支援② 支援方法のプレゼンテーション</p> <p>第17~18回 更年期女性とその家族の健康問題と看護支援③ 支援方法のプレゼンテーション</p> <p>第19~20回 妊娠期から産褥期にかけての親性の発達支援について、文献検討を深め、支援方法を発 表する1</p> <p>第21~22回 妊娠期から産褥期にかけての親性の発達支援について、文献検討を深め、支援方法を発 表する2</p> <p>第23~24回 妊産褥期の健康問題や影響要因に関し、文献検討を深め支援方法を発表する1</p> <p>第25~26回 妊産褥期の健康問題や影響要因に関し、文献検討を深め支援方法を発表する2</p> <p>第27~28回 ペリネイタルロスを経験した女性への看護支援について発表する1</p> <p>第29~30回 ペリネイタルロスを経験した女性への看護支援について発表する2</p> | | | | | 全て 日比 |
| 評価方法 評価基準 | 授業参加態度 25%、プレゼンテーション 25%、レポート 50%を合わせて総合的に評価する。 | | | | | |
| 教科書 | 教科書なし。講義の中で適宜紹介する | 参考書等 | なし | | | |